

<配布資料>

- 27-6-2 平成 27 年度第 5 回理事会議事録（案）
- 27-6-3 平成 27 年度第 6 回理事会入退会審査対象者
- 27-6-4 WC2024 の誘致に向けての日本医学物理学会との交流について
- 27-6-5 平成 27 年研究奨励賞候補者 選定調書
- 27-6-6 選奨規程
- 27-6-7 公益法人化作業に関して
- 27-6-8 平成 28 年度予算案
- 27-6-9 平成 28 年度臨時社員総会資料
- 27-6-14 他団体との協賛状況
- その他 第 55 回大会についての報告
第 56 回大会資料

議事

1. 理事会成立の確認
2. 前回議事録の承認（以下の修正をもって承認された）
議事録の承認は監事篠原先生に行なっていただく必要がある
中島先生は出席していた。
4.阪本賞の字が坂本と間違っている。
6.サマースクール，検討する若手の人選？に関しては，大須賀理事に検討いただく。
7.21 条-2 業務ごとに一人は，会務ごとに一人，に変更
各会務を担当する理事をもってそれぞれの会務に関する業務執行理事とする。
50 条の行を削除する？
9.専門別研究会 新規専門別研究会の新設が認められたのではなく，名称変更が認められた。
3. 入退会状況の件，回覧をもって承認された。
4. WC2024 開催に向けて，日本医学物理学会との交流セッションを開催することが報告された。（椎名理事）
第 55 回日本生体医工学会大会の交流セッションで招待する他学会の先生 2 名の旅費，謝金は大会からではなく，学会からお支払いする。旅費，謝金の額については過去の議事録を参照する。
WC2024 開催に向けて，アジアの学会にも根回しをしておく必要がある。また日本生体医工学会の活動について PR する。（佐久間理事長）

5. 研究奨励賞受賞者に関して承認された.

10. ME 研究推進委員会 (橋爪理事)

生体医工学関連の専攻, 学科創設について第 55 回日本生体医工学会大会にて OS を企画した.

11. 第 55 回日本生体医工学会大会準備状況 (中村理事)

プログラム最終チェック中で終了後印刷に回す.

特別講演 2 を大会長講演に変更した.

4 月 13 日まで事前登録受付中である.

参加者数 800 人で予算を見直した.

12. 第 56 回日本生体医工学会大会準備状況 (山家副理事長)

テーマは ME は何でもできる! とした.

2017 年 5 月 3 日-5 日東北大学で開催する.

シンポジストを決めた.

13. 第 57 回日本生体医工学会大会回大会は評議員も含めて公募する. (山家副理事長)

6. 選奨規程の改定 (中沢理事)

- ・公益法人化にあたって表彰が公正に行なわれていることを示す資料が必要 (阿部理事)
 - ・各支部で行なわれている選奨に関して, 選奨内規はあるか調べ, ない場合は案 (申合せ) を作成する.
 - ・昨年の実績を内閣府に示す必要があるので, 選奨の委員の名簿も提出する.
 - ・選奨の種類に生体医工学シンポジウムで出している賞と, その他の賞を新設する.
 - ・生体医工学シンポジウムの賞に関しては, その選奨規程も取り込む
 - ・理事会に選奨委員名簿を届けて承認を得て, 実施する.
 - ・理事会が選奨の決定作業の権限を委嘱し, 理事長名で表彰する.
 - ・各支部での選奨については, その他の賞とする.
 - ・それぞれの支部で規程を設けて, 報告する.
 - ・支部長が承認し, 支部長名で表彰する. 表彰結果報告の義務をつける.
 - ・専門別研究会にも表彰があれば, その他の表彰に入れる.
 - ・専門別研究会の集まる会議で表彰の規程について告知する.
- 次回の理事会で改定案を出す.

7. 公益法人化に向けての定款改定 WG (阿部理事)

- ・ 会務担当理事を一人にする。(責任者を明記する) 委員長と一致しなくて良い。
- ・ この会務担当理事が理事会で報告する必要がある。
- ・ 事務局長については内閣府の指導通りの規程とする。
- ・ みなし議事録のフォーマットを内閣府に指示された。(資料①)
- ・ 規程類一覧を内閣府に提出する必要がある。
 - 編集 英文と和文の投稿規程が抜けている。
 - 支部 関西支部が抜けている。
 - 顕彰 手続きは一覧には含めず、提出しない
 - 財務 経理規程 改訂中 現状の定款に合っていない
 - 報酬規程 作成予定 (阿部理事)
 - 試験委員会の内規もここにまとめる
 - 理事会や他の委員会でも、出席による報酬は原則して出さない。
 - 理事会で承認した場合は、出すことができる。
 - 学会の仕事で報酬を出すものは、規程に書き、額をすべて明記する。
 - 事務局長は使用される側。報酬を事務局長に対して出すか。
 - 論文の査読料は出さない。
 - 業務委託したときの契約料については記述不要。
- ・ 規程集すべてを **DropBox** などを使用して、理事全員が見られるようにする。
- ・ 規程一覧表は添付メールで理事に回す
- ・ 支部規約を提出する。(阿部理事に??)
- ・ 定款の 21 条 2, 23 条 4 下線部を改正する。
- ・ 会費に関する定款を改正する必要がある。
- ・ 半分公益事業, 半分学会業務
- ・ 財政安定化基金に関する規程案を作成した。
 - 5000 万円用意する。
- ・ 学会賞事業基金に関する規程案を作成した。
 - 賞の原資の規程 (会計が赤字になった場合)
 - 1000 万円の運用益数万円が使用可能
- ・ 平成 28 年度予算については、平成 27 年度決算と乖離していない必要がある。
- ・ 平成 27 年度決算については、平成 27 年度補正予算と乖離していない必要がある。

8. 平成 28 年度収支予算案（松田理事）

- ・決算に合わせる形で、補正予算で予算を変更する。
- ・専門別研究会の予算を追加した。

補正予算の状況の説明が行なわれた。

- ・試験事業収入 増
- ・機関紙収入 減
- ・学術集会事業収入 減

修正点

- ・学術集会事業収入の補助金，学術集会事業支出 学会費用本部からの補助金は 300 万円とする。
 - ・専門別研究会セミナーなど事業費 本部からの補助金 110 万円は削除
 - ・支部セミナー事業費 本部からの補助金 280 万円は削除
- 以上の修正をもって予算は承認された

9. 提示総会資料について

定時社員総会資料は定時社員総会資料（案）とする
平成 28 年 4 月 27 日は臨時総会とする。

生体医工学シンポジウムに関して

- ・生体医工学シンポジウムは支部の事業ではなく，全体の事業であることを理事長に強調してもらう。
- ・生体医工学シンポジウムの実施は 3.第 54 回大会のあとに書く

報告事項

- ・北海道支部幹事の情報を更新
- ・九州支部幹事の情報を更新
- ・東海支部長の情報を更新
- ・ME 教育 WG，利益相反の報告を送付してもらう（石原理事）
- ・ME 技術教育委員会 札幌：福岡工業大学 とあるのは，福岡：福岡工業大学の誤り
フォントの修正
- ・4 月の臨時総会の記述を追加
- ・全体を見直し，4 月 18 日までに修正事項を事務局に送付する。

今後の理事会，総会予定

- ・次回理事会は，4月25日15:00- 定時社員総会資料案を確認する.
- ・定時総会前の次々回理事会は，5月28日13:00- 事業報告，事業計画，決算，予算，財務状況の承認
- ・定時総会は，6月17日17:00-